



令和4年度 国立吉備青少年自然の家教育事業  
桃太郎チャレンジ2022

## 1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

小学校中学年という人間関係の大きな発達段階にある子供たちが、自然の中で共に宿泊体験や自然体験活動を通して、コミュニケーション力を高め、協力してよりよい集団生活を築こうとする態度や、自ら困難なことにもチャレンジし、自分自身を認めようとする心情を育む。

## 2. 事業の概要

### （1）期日

令和4年8月18日（木）～8月20日（土）2泊3日

（新型コロナウイルス感染症の陽性者が確認されたため中止）

#### 【当初の予定】

令和4年8月18日（木）～8月24日（水）6泊7日

### （2）参加者

#### ① 募集対象・人数

全日程に参加できる小学校3・4年生 24人

#### ② 参加人数

24人

### （3）企画・運営のポイント

- ① 岡山県の育みたい資質能力の一つ「郷土岡山を大切にする心」と国立吉備青少年自然の家のキャッチフレーズである「桃太郎のさと 吉備」を絡めた事業運営を心がけた。
- ② プログラム開発の目的も兼ねており、昨年度に実施した「弓矢づくり」の経験を活かしつつ、より効率的かつ安全にできる道具の選定と時間設定を行った。
- ③ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者に抗原検査キットを事前に配布し、陰性だった者のみの参加とした。また、朝夕の検温、屋内の活動ではマスクの着用および換気、活動前後のアルコールによる手指消毒を徹底した。

### 3. 活動の内容等

#### (1) 日程

日数	日付	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
1日目	8/18(木)								開会式	オリエンテーション	昼食(レストラン)	仲間づくりゲーム ルール作り			野外調理		振り返り	入浴(ロッジ)	就寝(ロッジ)		
2日目	8/19(金)		就寝	起床 清掃	野外調理	桃太郎体験①(弓矢づくり)				昼食(レストラン)	テント設営			火から起こす 吉備団子づくり +野外調理			振り返り	シャワー	就寝(テント)		
3日目	8/20(土)		就寝	起床 清掃	野外調理	桃太郎体験②(アドベンチャーオリエンテーリング) 昼食(レストラン弁当)								<b>以降中止</b>			入浴(岡山みやび温泉 大家族の湯)	振り返り	就寝(テント)		
4日目	8/21(日)		就寝	起床 清掃 テント 撤収	野外調理	ロングウォーク① ももつこ広場～吉備津彦神社～吉備中山～ 吉備津神社～鯉喰神社～岡山市立加茂小学校 昼食(レストラン弁当) 約10km				移動	西備 津彦	入浴 (瀬戸大橋温泉 やま幸)		テント 設営		夕食 (レストラン 弁当)	振り返り	就寝 準備 (自由)	就寝(テント)		
5日目	8/22(月)		就寝	起床 清掃 テント 撤収	朝食 (レストラン 弁当)	ロングウォーク② 岡山市立加茂小学校～砂川公園 約9km 昼食(レストラン弁当)				休憩		入浴 (吉備路温泉)		テント 設営		野外調理	振り返り	就寝 準備	就寝(テント)		
6日目	8/23(火)		就寝	起床 清掃 テント 撤収	野外調理	ロングウォーク③ 砂川公園～鬼ノ城～奥坂休憩所 約9km 昼食(レストラン弁当)				休憩	バス 移動	荷物移動 就寝準備		振り返り 発表準備		夕食 (レストラン)	入浴	キャンドルの つどい 振り返り	就寝 (宿泊棟)		
7日目	8/24(水)		就寝	起床 清掃	朝食 (レストラン)	移動	振り返り 閉会式の発表準備		閉会式												

#### (2) 活動の状況



【仲間づくり】



【野外炊事】



【弓矢づくり①】



【弓矢づくり②】





【テント設営①】



【テント設営②】



【火起こし体験】



【吉備団子づくり】



【アドベンチャーオリエンテーリング①】



【アドベンチャーオリエンテーリング②】

#### 4. 成果・課題

##### (1) 満足度

満足 46%、やや満足 15%、やや不満 31%、不満 8%

##### (2) 参加者の声

中止したためなし

##### (3) 成果

- ① 2泊3日と予定より短い期間になったが、クラフト・火起こし・オリエンテーリング・野外炊事・テント泊など、多くの活動を行う日程は実施することができたため、大人数でのキャンプの楽しさを体験することができた。
- ② アドベンチャーオリエンテーリングでは、岩場等の難所でリュックを持ってあげたり簡単なルートのアドバイスをしたりと、班で励まし合いながら全員元気に歩ききることができた。

##### (4) 今後の課題

- ① 弓矢づくりについて、弓の大きさが長すぎると体の小さい児童は弦がうまく引けないことがあった。また、矢に加工する細めの竹も重さによって向き不向きがあるため、いろいろな大きさの物を用意して自分に合った竹を選ぶ必要がある。
- ② キャンプの実施前に抗原検査を行い、朝夕の検温を毎日実施したが新型コロナウイルスの陽性者が出てしまった。発覚した時点で事業を中止としたことで、幸いにもクラスターにはならなかった。来年度に実施する際は、更なる対策を講じる必要がある。

担当：企画指導専門職付 西川 和志